



緑の園 9月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより



第63号

令和3年9月1日発行

Judas Priest/Point Of Entry(1981)



敬老の日 おめでとうございます。



今年の敬老の日は今月の20日(月)です。
敬老の日が移動祝日になって20年近く経過しましたが、以前敬老の日だった9月15日は現在老人福祉法で「老人の日」(21日までを老人週間)とされています。(知ってました?)

養護老人ホーム緑の園の最高齢は「佐竹きの様(大正3年3月5日生 107歳)」です。

佐竹さんはいつも明るくにこやかに生活されており長寿の秘訣を伺ったところ「昔は何もなく生活することは大変だったけど今はありがたいわぁ」と仰られました。

特別養護老人ホームグリーンプラザでの最高齢者は新海ミクニ様(大正13年8月17日生 97歳)ともうお一方、藤坂藤三郎様(大正13年9月7日生 96歳)です。



新海ミクニさんは裁縫が得意だったそうで流行りの服を編んでいたとのこと「みんなよろこんでいたさぁ」と仰ってました。

藤坂さんは現在体調がすぐれず医療機関に入院中で一日も早いご回復をお祈りいたします。

特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツでの最高齢は、井上ヨシエ様(大正10年2月18日生)と

松井 勝様(大正年10年8月11日生)のおふたりとも100歳です。

井上様、松井様とも毎日元気で過ごされております。

今年の干支は丑(うし)ですが丑年生まれの方は1066万人で日本の総人口に占める割合は8.5%となっています。

さて、丑年生まれの人を出生年別にみると昭和24年生まれ(1949年)で今年72歳になる人が211万人と最も多く次いで昭和48年生まれ(今年48歳になる人)が203万人、昭和36年生まれ(今年60歳になる人)149万人となっています。

ちなみに、丑年は12ある干支のうち3番目に人口が多い干支で、1番人口が多い干支は「子(ね)年」の1138万人、2番目が「亥(い)年」の1122万人だそうです。

佐竹きのさんは「寅年」、緑の園のもう一人の100寿者佐藤鈴江さん(102歳)は「未(ひつじ)年」井上ヨシエさん、松井勝さんは「酉(と



り)年」、新海ミクニさん、藤坂藤三郎さんは「子(ね)年」で残念ながら長寿と干支との関係性はまったくなさそうです。

最後になりますが「敬老の日」は「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し長寿を祝う」ことを趣旨としています。(国民の祝日に関する法律 第2条)

あらためまして、皆さん敬老の日おめでとうございます。(終わり)

**心温まるご寄付あり
がございました。**

先月当法人の各事業へご寄付を賜りましたのでご紹介いたします。ありがとうございました。



「養護老人ホーム緑の園」へ

※江別市緑が丘 國枝明好様

「就学資金貸与事業」へ

※遠軽町丸瀬布 涌島正成様

**養護老人ホーム緑の園/特別養護老人ホームグリーンプラザ
職員会議より**

先月号の記事の中で職員会議で取り上げた『言葉による拘束=スピーチ・ロックについて』の一部を紹介しましたが、今回も以前やった会議ネタで『「観察することの意味について」』を紹介します。

「観察する」ということは「(ただ漠然と)見る」ことではなく「見ようと思って観る」ことです。

お年寄りの状態の変化に気づくことということは普段のお年寄りの状況を把握することから始まります。

日常的な「観察」つまり「見ようと思って観る」ことを習慣づけることによって今まで見えなかったものが見えてくる「発見」につながります。

それは笑顔など表情の変



化であったり、何らかの身体的なサイン(排泄等)の「気づき」であると思います。

「きっと良い変化がある」、「きっと想いが通じる」という気持ち、「待つこと・想うこと」を意識して「観る」ことが必要だと思います。

心が変われば行動が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変われば人格が変わる。

人格が変われば運命が変わる。

マーガレット・サッチャー 元英首相

習慣は人が作りますが、良い習慣は人を作ります。

良い習慣を作り上げることは、小さなことほど丁寧に、当たり前のことほど真剣に取り組むことが仕事の基本となります。

仕事の大部分は当たり前前で成り立っています、小さな作業の積み重ねが結果、大きな仕事やお年寄りからの評価につながっているということを認識し、意識しないことさえも真剣に取り組むこと。

身だしなみを整える、挨拶をする、ルールを守る、集合時間に遅れない、丁寧な言葉遣い。

このような小さな決まり事をないがしろにしない姿勢が私たち職員への信頼感につながります。

私たち職員がお年寄りを想って「観る」ことは「気づき」につながるとても大切な職責のひとつであり思いやりだと思います。

何しろ養護老人ホーム緑の園と特別養護老人ホームグリーンプラザの介護理念は「笑顔のために気持ちをひとつに」なのでから…。(おばら)

